

高松塚壁画館 冬季企画展

中尾山古墳展

高松塚壁画館は、特別史跡「高松塚古墳」に隣接し、高松塚古墳壁画の模写をはじめ高松塚古墳の全貌をわかりやすく展示する施設として、昭和 52 年の開館以来、多くの方々にご来館いただいております。

現在、奈良県と明日香村、橿原市、桜井市は「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録を目指しています。「高松塚古墳」はその構成資産の一つとなっています。今回はその構成資産の一つである「中尾山古墳」について企画展示を行います。

「中尾山古墳」は、王家の墳墓が多く存在する檜隈にある古墳として、もともと研究者に知られていました。「中尾山古墳」は、墳丘の形が八角形をしています。こうした八角墳は飛鳥時代の終末期に特異的に存在しています。その八角墳の存在が発掘調査で最初に知られたのがこの「中尾山古墳」なのです。この古墳は、埋葬施設においても終末期の特徴を表しており、古墳の終わりを考えるうえで重要な古墳といえます。このほかにも、明日香村内では天武・持統天皇陵や牽牛子塚古墳など多くの八角墳が知られており、その被葬者像について多くの関心が寄せられています。

今回の展示ではその特徴や想定される被葬者を解説しました。本企画展を通して中尾山古墳や天武・持統天皇陵など現地散策しながら楽しんでいただきたいと思います。

●展示期間

令和 6 年 1 月 20 日（土）
～3 月 17 日（日）

●開館時間

午前 9 時 00 分～午後 5 時 00 分
（入館は午後 4 時 30 分まで）

※休館日：2 月 13 日（火）

●入館料

大人 300 円
学生 130 円（高校・大学）
小人 70 円（小学・中学）

●展示会場

高松塚壁画館

奈良県高市郡明日香村平田 439
（国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区内）
Tel 0744-54-3340
<https://www.asukabito.or.jp>

<協力> 明日香村教育委員会文化財課



写真提供：明日香村教育委員会

